



今年度、野村中学校長を拝命いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響で本校でも入学式を4月7日に行つて以降、登校日、分散登校、そして、6月15日からの一斉授業、部活動と、今までに経験のない異例づくめの中で今を迎えています。休業中はいかに安心安全で生徒を迎えてあげることが出来るかを考えて、教職員一同で会議を頻繁におこなないました。学校行事の見直し

や夏休み、冬休み、テストの期間の短縮など、その学年の履修範囲を終了させることを考えました。

ただ、学校は教科の学習だけをおこなつていけば良いわけではありません。そこには、集団として学ぶものが沢山あります。特別活動や総合、特別の教科道徳、学校行事など、その中でみんながよりよい生活をおこなつていくために色々な人の意見を聞き、参考にし、自分の意見をもち、他者を尊重していくことを学んでいく所でもあります。学校とは社会の縮図であり、誰もが生活しやすい場であることもみんな考えていく所であり

ます。

まだまだ昨年までのようには戻りませんが、そのような状況でも落ち着いて学習、学校生活に取り組み、沢山の笑い声が聞けるようになってきています。もつと沢山の笑顔や笑い声が響く学校にしていくために、生徒や教職員はもちろん、保護者や地域の方、お客さんにも来校されたときに来て良かったと思つてもらえるように取り組んでいきます。その内容は各自考えて行動できるように進めていきます。誰もが来てよかったと思える野村中学校を目指して頑張つていきますので、色々な忌憚らないご意見を頂ければと思います。保護者、地域の皆様、今後とも宜しくお願いいたします。